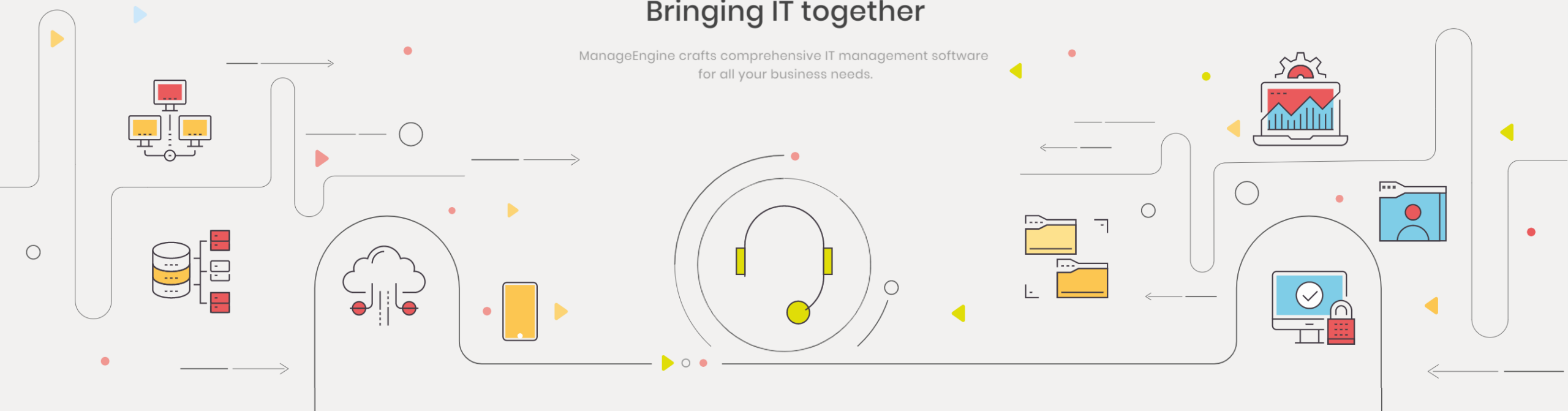


Bringing IT together

ManageEngine crafts comprehensive IT management software
for all your business needs.



ManageEngine OpManager Plus

SAMバンドルライセンス体系改定に関する補足資料

ゾーホージャパン株式会社

デバイス数の割り振り

ライセンスのデバイス数を以下の**3つのバンドル**に割り振ることにより監視をカスタマイズできます。

それぞれのバンドルに含まれる監視内容は以下の通りです。

ネットワークバンドル	サーバー・アプリケーション バンドル（※今回の改定対象）	ストレージバンドル
スイッチ・ルーター・インターフェース・ IPアドレス等の監視	サーバー・アプリケーション・ Webサイト・サービス等の監視	ストレージデバイスの監視
ネットワークパフォーマンス監視	サーバー監視	ディスク監視
帯域・トラフィック解析	ミドルウェア・アプリケーション監視	FCスイッチ監視
Liteデバイス監視	外形監視	テープライブラリ監視
IPアドレス管理	Webサービスパフォーマンス監視	
スイッチポート管理		

各バンドルへの割り振りは環境に合わせて自由にカスタマイズ可能

サーバー・アプリケーション管理(SAM)バンドル (SAM: Server and Applications Management)

サーバー・アプリケーション管理(SAM)バンドルは、サーバー・アプリケーション・Webサイト・サービス等の監視に対応するバンドルです。

SAMバンドルに割り振ったデバイス数に応じて、各機能の利用可能数が決定します。計算方法は以下の通りです。

バンドルのデバイス数	サーバー監視	アプリケーション監視	インターネットサービス監視
n デバイス	n	n	n×3

- ※ インターネットサービスには、WebページのURL監視やクラウドサービスの監視等が含まれます。
- ※ SAMバンドルの利用には、APMプラグインのインストールが必要です。
- ※ 一部のアプリケーション監視機能のご利用にはオプションの購入が必要です。オプション一覧をご確認ください。

例：利用ライセンスの算出方法

以下のサーバー・アプリケーション、インターネットサービスを監視する場合において、改定前と改定後の算出方法の違いを紹介します。

サーバー	59
アプリケーション	81
インターネットサービス	147

【改定前】利用ライセンスの算出方法

監視対象装置の数からSAMバンドルへ割り当てるデバイス数を計算する方法は次の通りです。

	サーバー監視	アプリケーション監視	インターネットサービス監視 
SAMバンドルのデバイス数	n	n	n
ネットワーク内の監視対象要素数	59	81	147
SAMバンドルへの割当	59	81	147

➡ SAMバンドルへ割り当てるデバイス数は **147** です。

バンドル内で最もデバイスを消費している監視機能を「**プライマリーコンポーネント**」と呼びます。
プライマリーコンポーネントのデバイス数が、そのバンドルで必要なデバイス数となります。

【改定後】利用ライセンスの算出方法

監視対象装置の数からSAMバンドルへ割り当てるデバイス数を計算する方法は次の通りです。

	サーバー監視	アプリケーション監視	インターネットサービス監視
SAMバンドルのデバイス数	n	n	3n
ネットワーク内の監視対象要素数	59	81	147
SAMバンドルへの割当	59	81	49

147÷3=49

➡ SAMバンドルへ割り当てるデバイス数は **189** です。

※プライマリーコンポーネントの体系を廃止し、各監視対象（コンポーネント）の合計値を課金対象とする。

サーバー監視59 + アプリケーション監視81 + インターネットサービス監視49 = 189